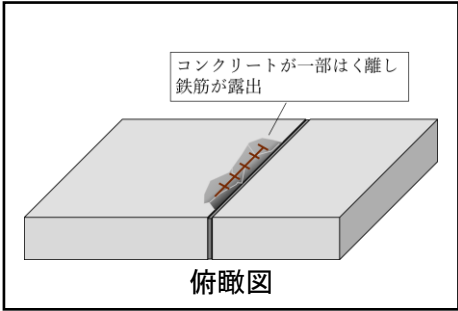

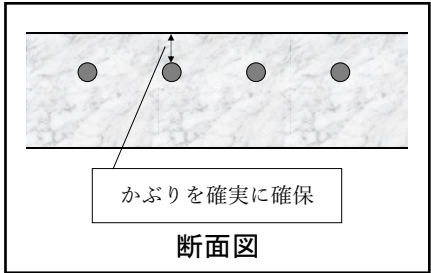
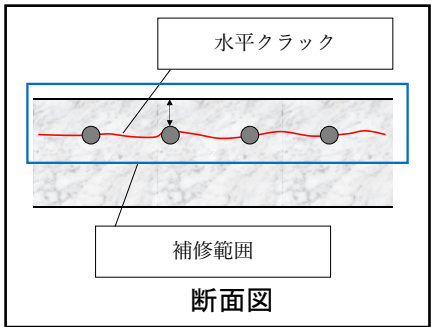


| | |
|---|---|
| 発生箇所 | ①縦目地, ④コンクリート版端部 |
| 分類 | 材料・施工 |
| 参考箇所 | 4-8-7 鉄網および縁部補強鉄筋の設置 |
| <p>●内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 目地部において、コンクリート版がはく離し、鉄網や鉄筋が露出した。 開削調査により、コンクリート舗装版の中央分離帯側もしくは路肩側の端部で、目地を中心に水平ひび割れ、端部補強筋に著しい腐食が確認された。 |  <p>俯瞰図</p> |
| <p>●原因</p> <ul style="list-style-type: none"> かぶり厚が不足していた。 目地部から浸入した水が起因となる発錆・腐食膨張により鉄筋位置で水平ひび割れが発生した。 |  |
| <p>●発生防止策</p> <ul style="list-style-type: none"> 鉄網や鉄筋のかぶりを確保する。 適切な時期に点検を行い、目地材のはみ出し・飛散が見られた際は、確認次第速やかに再充填を行い、雨水の浸入を防ぐ。 |  <p>断面図</p> |
| <p>●発生した場合の対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ひび割れ発生深さまで、既設コンクリートを撤去し、鉄筋の錆除去と防錆処理を行った後、コンクリートを打設する。この際、新旧コンクリートが確実に付着するよう施工する。 損傷の程度によっては打換えを行う。 |  <p>断面図</p> |